異時性食道多発 dysplasia の 1 例

普光江嘉広¹⁾ 清水喜徳 李 雨元 李 雅弘
 亀山 秀人²⁾ 安藤 進 谷尾 昇 村上雅彦
 新井 一成 小池 正 副島和彦³⁾

要旨：症例は78歳女性。心窩部痛の精査にて，上部消化管内視鏡を施行したところ，腹部食道に直径1 cm 弱の不整形のヨード不染帯を指摘された。生検で moderate dysplasia が認められたため，strip biopsy を施行したところ，mild dysplasia の診断を得た。約6 カ月ごとに経過観察していたところ，1 年4 カ月後に前回とは異なる部位に2カ所ヨード不染帯が出現した。いずれも直径1 cm 弱の不整形で，生検にて扁平上皮癌が強く疑われたため strip biopsy を施行したが，それぞれ mild, severe dysplasia であった。前癌病変としての食道 dysplasia を診断するうえで，積極的な strip biopsy の適応と食道癌の high risk group としての確実な経過観察の必要性が示唆された。〔Key Word〕多発性食道 dysplasia

はじめに

食道 dysplasia は食道の前癌病変と位置付けられている¹⁾が，経過観察中に多発病変の出現をみた報告は少ない²⁾。診断へのアプローチ，経過観察にあたっての注意点について，若干の文献的考察を加え報告する。

症例：78歳女性。

主訴：心窩部痛。

既往歴，家族歴：特記すべきことなし。

現病歴：1991年3月上旬，心窩部痛が出現したため，当院外来を受診した。腹部超音波検査にて特に問題なく，精査目的にて上部消化管内視鏡検査を施行した。

初回上部消化管内視鏡所見：通常の内視鏡観察では，食道胃接合部上約1 cm の腹部食道は，やや発赤調を示すだけで形態的变化を認めず，3%ヨード撒布にて直径1 cm 弱でやや辺縁不整，円形のヨード不染帯を認めた (Color 1)。胃内は萎縮性胃炎の所見をみるのみであった。

組織学的所見：生検組織は表層上皮に moderate dysplasia を認めたが，strip biopsy

で得られた標本から mild dysplasia の診断を得た (Fig. 1)。

食道内視鏡所見：経過観察のため，6 カ月ごとに食道内視鏡検査を行っていたが，3 回目の1992年7月，前回とは異なる部位に2カ所ヨード不染帯の出現をみた。1つは，切歯列より35cm の8×7 mm の円形で辺縁やや不整なヨード不染帯で，通常内視鏡観察でははっきりとした形態変化は認められなかった (Color 2)。もう1つは，切歯列より30cm の8×4 mm の円形で辺縁やや不整なヨード不染帯で，やはりヨード撒布前は明らかな病変部の指摘は困難であった (Color 3)。

生検および strip biopsy 病理組織学的所見：生

Fig. 1 Pathological findings of the endoscopic mucosectomy containing mild dysplastic changes.

¹⁾城山病院外科，²⁾昭和大学医学部外科，³⁾同第1病理

Fig. 2 Pathological findings of the endoscopic mucosectomy containing mild dysplastic changes.

Fig. 3 Pathological findings of the endoscopic mucosectomy containing severe dysplastic changes.

検で両者とも細胞異型、構造異型がみられ、扁平上皮癌が強く疑われ、strip biopsy を施行した。切歯列より35cmの病変はmild dysplasia (Fig. 2)、30cmの病変は一部に高度の異型上皮を認め、severe dysplasia と診断された (Fig. 3)。

考 察

近年、食道内視鏡検査におけるヨード染色法の普及につれ、早期食道癌や dysplasia の発見率が増加した³⁾。また dysplasia の前癌病変としての位置付けもなされ¹⁾、これらに対する積極的な診断、治療が、食道癌の生存率向上に重要となってきた⁴⁾。

当施設で、通常食道内視鏡検査では明らかな形態変化を示さない、ヨード不染帯を検討したところ⁵⁾、6 mm 以上の不染帯で高率に癌や dysplasia が認められた。同時に鉗子生検と strip biopsy との組織診断のギャップも大きいことがわかった⁶⁾。この結果を考えると、早期食道癌の診断、治療においては、6 mm 以上のいわゆる 0-IIb 型のヨード不染帯は、積極的な strip biopsy の適応であると思われた。

早期食道癌や dysplasia の strip biopsy 後の経過観察についての報告は少ないが、門馬ら²⁾は早期食道癌に strip biopsy を施行し、その後の1～2年の経過観察において、8%の症例に異時性の多発病巣が確認されたと報告している。本例では初回発見時より約1年4カ月という短い期間に、

異所性多発性に dysplasia の出現をみており、また6カ月前に行った食道内視鏡検査において、ヨード不染帯を認めなかった。このことは、早期食道癌、dysplasia が、その経過中に異時性、異所性に発症しやすいことを裏付けるものと思われ、経過観察にあたっては、いわゆる食道癌の high risk group として、6カ月～1年に1度のヨード染色を中心とした食道内視鏡検査が必要と思われた。

おわりに

前癌病変としての食道 dysplasia を、臨床的に経過観察するうえで興味深いと思われた1例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告した。

文 献

- 1) 多幾山 渉, 高嶋成光, 土井原博義, 他: 食道の異型上皮に関する検討. 癌と化学療法, 16: 1645～1649, 1989
- 2) 門馬久美子, 吉田 操, 山田義也, 他: 早期食道癌に対する内視鏡的粘膜切除術の方法. 消化器外科, 15: 1757～1766, 1992
- 3) 大森 泰, 熊谷義也, 幕内博康, 他: 集検で発見された食道 dysplasia. 胃と腸, 26: 175～184, 1991
- 4) 門馬久美子, 榊 信広, 加藤久人, 他: 食道上皮内癌, 異型病変の診断と治療. 胃と腸, 26: 197～208, 1991
- 5) 亀山秀人, 清水喜徳, 安藤 進, 他: 食道ヨード不染帯に対する内視鏡的粘膜切除の適応. 消化器内視鏡の進歩, 41: 177～180, 1992
- 6) 西澤 護, 細井董三, 岡田利邦, 他: 食道 dysplasia の存在を問う. 胃と腸, 26: 185～196, 1991

A Case of Metachronous Multiple Esophageal Dysplasia

Yoshihiro Fukoue ¹⁾	Yoshinori Shimizu	Ugen Li	Masahiro Li
Hideto Kameyama ²⁾	Susumu Andou	Noboru Tanio	Masahiko Murakami
Kazushige Arai	Tadashi Koike	Kazuhiko Soejima ³⁾	

We reported a case of metachronous multiple esophageal dysplasia that is interesting clinically. A 78-year-old woman, who complained of epigastralgia, was detected a small iodine unstained lesion in the EGJ above by the endoscopy.

Pathologically, the biopsy was containing moderate dysplasia cells, but endoscopic mucosectomy was containing mild dysplasia. Following every 6 months, endoscopic examination showed another two iodine unstained lesions after 16 months. One was in the 35cm, another was in the 30cm from the

incisor. These biopsy specimens were strongly suspected of squamous cell carcinoma, but the endoscopic mucosectomy revealed mild and severe dysplasia.

This case indicated the necessary of the endoscopic mucosectomy and careful follow up for esophageal dysplasia.

¹⁾Dept of Surgery, Shiroyama Hospital. ²⁾Dept of Surgery, Showa University School of Medicine. ³⁾ 1st Dept of Pathology, Showa University School of Medicine.

＜カラーは328pに掲載＞